

## Anti human PXR-2 mouse monoclonal antibody

PXR: Pregnane X receptor, SXR

製品コード	PP-H0502-00
Clone No.	H0502
Lot.	A-2
濃度	1 mg/mL
容量	100 $\mu$ L
Ig class	G2b
Nomenclature	NR112
Genbank	AF084644
由来	ヒトPXR-2 (1-78 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト PXR-2 と特異的に反応する。ヒトPXR-1には反応しない。その他の動物種との交差反応は未検討。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN <sub>3</sub> 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 1-10 $\mu$ g/mL
非還元 Western Blot	可 参考使用濃度 3-10 $\mu$ g/mL
ELISA	可 参考使用濃度 0.5 $\mu$ g/mL (A450=1.0)
免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
Supershift Assay	未検討 参考使用濃度 -
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
免疫染色	未検討 参考使用濃度 -

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C 以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

### 参考文献

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Aug 29, 2006